

日本の民间传说～很久很久以前～

— 桃太郎 —

很久很久以前，某个地方住着一位老爷爷和一位老奶奶。有一天，老爷爷上山砍柴去了，老奶奶到河边去洗衣服。

正当老奶奶在河边洗衣服的时候，有一只大桃子哗啦哗啦漂流过来。老奶奶将大桃子捞上来带回了家。正想切开吃桃子时，桃子中间进出了一个健康可爱的男宝宝。没有孩子的二老非常高兴，为这个男孩取名桃太郎，细心抚养。桃太郎健康地长成了一个强壮的男子。有一天，桃太郎说：“我要到鬼岛去降妖除怪”，于是让老奶奶做了黄米团子，向鬼岛出发了。

路上，碰到了一只小狗，小狗问道：“桃太郎，你到那儿去？”桃太郎说：“我要去鬼岛，降妖除怪。”小狗说：“把你腰上系着的黄米团子给我一个吧。我和你一起去。”小狗拿到了黄米团子，做了桃太郎的随从。

接着，桃太郎碰到了猴子。猴子也问了同样的话，桃太郎说去鬼岛降妖除怪，猴子说给我一个黄米团子我就做你的随从，于是桃太郎给了黄米团子。

走了一会儿又碰到了一只野鸡，也向桃太郎要了黄米团子后做了随从。

于是，桃太郎和小狗、猴子、野鸡一同向鬼岛出发。

鬼岛上，众鬼们摆出了从附近村落抢来的宝物和佳肴，酒宴正酣。小狗咬住了鬼的屁股，猴子抓鬼的后背，野鸡用嘴啄鬼的眼睛，桃太郎也挥舞着大刀，非常活跃。

终于，鬼头目大叫：“我投降，饶了我吧”，拱手作揖求饶，桃太郎等拿着鬼抢来的宝物回家了。

老爷爷和老奶奶看到桃太郎安全回来非常高兴。因为有了宝物3人过着幸福的生活。

可喜可贺，可喜可贺。



日本の昔話～むかし、むかし～

— 桃太郎 —

昔々、あるところに、お爺さんとお婆さんが住んでいました。お爺さんは山へ芝刈りに、お婆さんは川へ洗濯に行きました。

お婆さんが川で洗濯をしていると、どんぶらこ、どんぶらことお大きな桃が流れてきました。お婆さんはこの大きな桃を拾い上げて、家に持ち帰りました。さて、桃を食べようと切ってみると、なんと中から元気の良い男の子の赤ちゃんが飛び出してきました。子どものいなかった2人は、大喜び。2人はこの男の子を桃太郎と名付け、大切に育てました。桃太郎は元気に育ち、強い男の子になりました。

ある日、桃太郎が「悪い鬼を退治しに、鬼ヶ島へ行ってきました」と言って、お婆さんにきび団子を作ってもらい、鬼ヶ島へ出かけました。

途中で、イヌと出会い、イヌが「桃太郎さん、どこへ行くのですか？」と聞くので、桃太郎が「鬼ヶ島へ、鬼退治に行くんだ」と言うとお腰に付けたきび団子を1つくださいな。お供しますよ」と言いました。イヌはきび団子をもらい、桃太郎のお供になりました。

すると、今度はサルに出会いました。サルも同じことを聞くので、鬼ヶ島へ鬼退治に行くと言うと、きび団子を1つもらえばお供すると言うので、きび団子をやりました。

しばらく行くと今度はキジに出会い、またきび団子をやりました。

こうして、桃太郎はイヌ、サル、キジと一緒に、鬼ヶ島へやってきました。

鬼ヶ島では、鬼たちが近くの村から盗んだ宝物やご馳走を並べて、酒盛りの真っ最中でした。イヌは鬼のおしりにかみつ、サルは鬼の背中をひっかけ、キジはくちばしで鬼の目をつつき、桃太郎も刀をふり回して大活躍。

とうとう鬼の親分が「降参だ、助けてくれえ」と手をつけて謝ったので、桃太郎たちは鬼から取り上げた宝物を持って、家に帰りました。

お爺さんとお婆さんは、桃太郎の無事な姿を見て大喜び。3人は、宝物のおかげで幸せに暮らしたとき。

めでたし、めでたし